

8280



永代 (永代印) 保存期限
次官 (次官印) 決裁指定
朝田 (朝田印) 決行指定

大臣 陸軍		件名 陸軍特種輸送船設計委託ニ関スル件				受番 一三一〇		政務次官 回付	
局長 主務	次官	政務次官	決裁前連帶 軍事、統制、參本	主計		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;"> 陸軍省 8.17 主計課 </div>			
局長 主務		副官 高級		起元廳(課名)		軍務局防備課			
局長		主務 課長		書記官		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 決行後(裁)後 回付(課)後 </div>			
局長		主務 副官		審案 筆記者		陸軍省 防備課			
局長		主務 課長		主務 副官		官房御用掛 主務課員			
局長		主務 課長		主務 課員		(裁決)行後 覽同			
局長		主務 課長		主務 課員		昭和一七年五月廿六日 昭和一七年五月廿七日 昭和一七年五月廿八日			
局長		主務 課長		主務 課員		昭和一七年五月廿六日 昭和一七年五月廿七日 昭和一七年五月廿八日			
局長		主務 課長		主務 課員		昭和一七年五月廿六日 昭和一七年五月廿七日 昭和一七年五月廿八日			

陸軍

陸軍 次官ヨリ海軍次官へ照會

作敷上ノ必要ニ基キ左記要件ニ基キ首題輸

送船ヲ建造致度ニ付テハ貴省ニ於テ之カ設計實

施方御配慮煩度及照會候也

追テ細部ニ関シテハ主務者間ニ於テ協議スルコ

トト致度申添候

左記

陸密第五〇九號

昭和七年三月廿四日

一上陸用舟艇及飛行機搬送ニ適當ナル船舶ヲ建造ス

二總經費ハ約二百万円ヲ目途トス

三建造完了期ハ昭和八年度末トス

四建造ニ関シテハ嚴ニ秘密ヲ保持ス

副官より海軍省副官へ回答

四月二十日附官房機密第七九六號照會首

題ノ件異存無之當省ニ於テ支拂可致

及回答候

陸密第一八八號

昭和八年四月廿四日

0882

市宗法行ノ上ニ同族ヲ遊覧ス

了者方西印ニ云

高諸取生書ニ附信條ニテテ作象

ニテトニ打大衛ノ下

四月辛卯

市宗法行

市宗法行



8880



官房機密第七九七號

密 第三二一號

昭和八年四月二十日

陸軍省 副官 殿

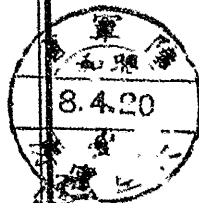
海軍省 副官

陸軍特種輸送船ノ設計受託費用ノ件照會

昭和七年十二月二十七日陸密第五〇九號照會昭和八年一月二十七日
回答ニ依ル首題費用左記ノ通ニ有之之ガ徴收ニ關シテハ別ニ取計ハ
ルベク候條御了承相成度

記

一、昭和七年度



(花崎納)

(8.2 200.)

0884

項目	金額
艦型試験	一、四九九、〇九〇 <small>圓</small>
設計製圖	八〇五、五八五 <small>圓</small>
計	二、三〇四、六七五 <small>圓</small>

(終)

海軍 (在時納)

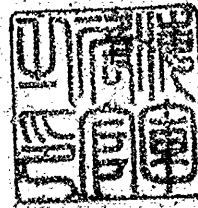
官房機密第一六一號

第 二 二 二 一 一 一

昭和八年一月二十七日

陸軍次官殿

海軍次

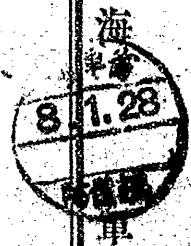
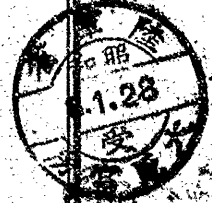


陸軍特種輸送船ノ設計委託ニ關スル件回答

昭和七年十二月二十七日陸密第五〇九號照會首題ノ件基本計畫ノ受
託ハ差支無之候

追テ基本計畫ニ據ル細部計畫ハ建造會社ヲシテ原案ヲ作製セシム
ルコトト致度

(終)



9880

器材

極秘

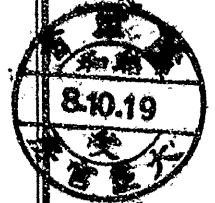
陸軍省
陸軍航空本部
1111

官房機密第一九九九號ノ二

昭和八年十月十九日

陸軍次官殿

海軍次



海軍 (花時納)



飛行機射出機製作委託ニ關スル件回答
九月二十五日陸密第四八三號照會首題ノ件差支無之候

本件寫送付先

陸軍航空本部

(終)

(8. 5 300.)

密 1111

4880

牛島 執行指定 決裁指定 伊藤

事務次官回付

決裁前後連帶

執行(決裁)後同覽課名

大臣 委		局長 主務		次官 委		政務 次官		參與官		書記官		審案 書記者	
局長 主務		副官 高級		主務課長		主務副官		官房御用掛					
局長 主務		副官 高級		主務課長		主務副官		官房御用掛					
局長 主務		副官 高級		主務課長		主務副官		官房御用掛					
局長 主務		副官 高級		主務課長		主務副官		官房御用掛					

受領番 陸軍省 密 二二二一號 起元應(課)名 陸軍省兵器局器材課

件名 飛行機射撃機製作經費ニ關スル件

主務局長 昭和三十八年七月二十七日

提領 昭和三十八年七月二十七日

大官房 昭和三十八年七月二十七日

了結 昭和三十八年七月二十七日

陸軍

陸軍部

通牒

副官長陸軍部陸軍部部長

十月二十日附陸密第五二四號一達ニ基ク
經費ハ其外其他整備費ノ支辨トシ左記
支出區分ニ據ルコトニ定メラレシムニ付承知相
成度

左記

陸密第五四三號

昭和八年

昭和八年度

目途金額

一六〇、〇〇〇圓

昭和九年度

同

一九〇、〇〇〇圓

陸密第...

照會

次官より海軍次官へ

昭和七年十二月二十七日附陸密第五〇九號

照會ニ基ク陸軍特殊輸送船ニ裝備スル

爲左記要領ニ據リ首題ノ器材製作方

貴省ニ於テ御配慮相煩度照會ス

追テ之ヲ設計要件ニ按テ細部ニ

關シテ陸軍船官本部ヨリテ直接關係

者ニ協議セシムル事ト致度申添フ

左記要領

陸密第五〇九號

昭和八年九月廿五日

一完成期日 昭和九年八月末日



<p>二製作器材</p>	<p>射出機 二基</p>	<p>滑走臺車 四臺</p>	<p>タミ一 一箇</p>	<p>誘導試験機 一箇</p>	<p>三、本件ニ關スル一切事項、軍機秘密トス</p>	<p>右畧存ナキ旨回答アリタル後、左案ヲ決行</p>	<p>件名 飛行機射出機製作ニ關スル件 陸軍機密</p>	<p>陸軍航空本部長、</p>
--------------	---------------	----------------	---------------	-----------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------------	-----------------

首題ノ器材別紙要領ニ據リ製作ノ上審
査シ其結果ヲ覆由スヘシ

陸密第五二四號

昭和八年十月廿日

件名 飛行機射撃機製作委託ニ関スル件

陸密形

通牒

副官ヲ陸軍總司令部長

別紙照會ニ對シ異存ナキ旨回答アリシルニ
付承知相成度

陸密第五二五號

昭和八年十月廿日



説明ターゲット

次の原稿

不鮮明

| 0893~0896 |

3年10月4日

主務者又は

撮影立会者

加部東保夫



飛行機用射出機製作要領

一 本機ハ陸軍特殊輸送船ニ裝備スルモノトス
 二 射出スヘキ飛行機ノ機種ハ當分ノ間九一式戦闘機及九二式偵察機
 ノ二種トスルモ尙新式機ノ出現シタル場合ニ於テモ使用シ得ル如
 ク考慮シアルヲ要ス
 而シテ船体ノ停止位置ヨリ飛行機ヲ安全且迅速ニ射出シ得ルヲ要
 ス
 三 左記器材ノ製作ハ之ヲ海軍ニ委託スル事ヲ得

左記

- 射出機 二臺
- 滑走臺車 四臺

縦中横ノ別紙ヲ添付

4680

ダ
イ
一

一箇

誘導試験機

一箇

而シテ右器材ノ設計要件竝ニ實施ノ細部ニ關シテハ直接海軍航空
本部ト協議スルモノトス

四射出機ハ昭和九年十二月末日迄ニ輸送船ニ装着ヲ完了スル如クス
其所要經費ハ三十五萬圓ヲ目途トシ其支出年度竝發目ニ關シテハ追
テ指示ス

六本件ニ關スル一切ノ事項ハ軍事機密トス

陸密第 號

飛行機射出機製作委託ニ關スル件照會

昭和八年九月 日 陸 軍 次 官

海 軍 次 官 宛

昭和七年十二月二十七日附陸密第五〇九號照會ニ基ク陸軍特殊輸送船ニ裝備スル爲左記要領ニ據リ首題ノ器材製作方貴省ニ於テ御配慮相煩度照會ス

追テ之カ設計要件並實施ノ細部ニ關シテハ陸軍航空本部ヲシテ直接關係者ニ協議セシムル事ト致度申添フ

左記要領

一 完成期日 昭和九年八月末日

級御通牒ノ別紙

9690

ニ、製作器材

射出機

二臺

滑走臺車

四臺

ダミ

一箇

誘導試験機

一箇

三、本件ニ關スル一切ノ事項ハ軍事機密トス

0090

陸軍

2680

保存
決裁指定
高案
決行指定

房官巨大		課局務主			大臣 委	件名 射名機借用、件	受領 番號 密 一三二 其起元應(課)名 陸軍部
了結	領受	出提	領受	號番			
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 八年 十二月 四日	密 八五			
(裁決)行決 覽回後		帶連					
長局		長局			局長 主務	政務 次官	決行(決裁)後 回覽課名
長課		長課			課長 主務	高級 副官	
					主務課員	書記官	審案 筆記者
					主務副官 官房 主務課員		

政務次官同付
決裁後
連帶
課名

決行(決裁)後
回覽課名

陸軍部

照會

次官より海軍次官へ

昭和八年九月二十五日附照會ニ係ル飛行機
用射出機ニ關聯シ審査上必要有之左記
器材ヲ昭和九年四月より同年八月迄貸與
方配慮相成度照會ス

追テ細部ニ關シテハ陸軍總司令部
シテ直接當事者ト協議セシメ度申係

左記

陸軍第六三〇號

昭和八年三月七日

吳式二聯射出機三型改二

一組

右異存ナキ同答アリタル後左掲ホ決行



陸軍部

通牒

副官長陸軍部軍需部長

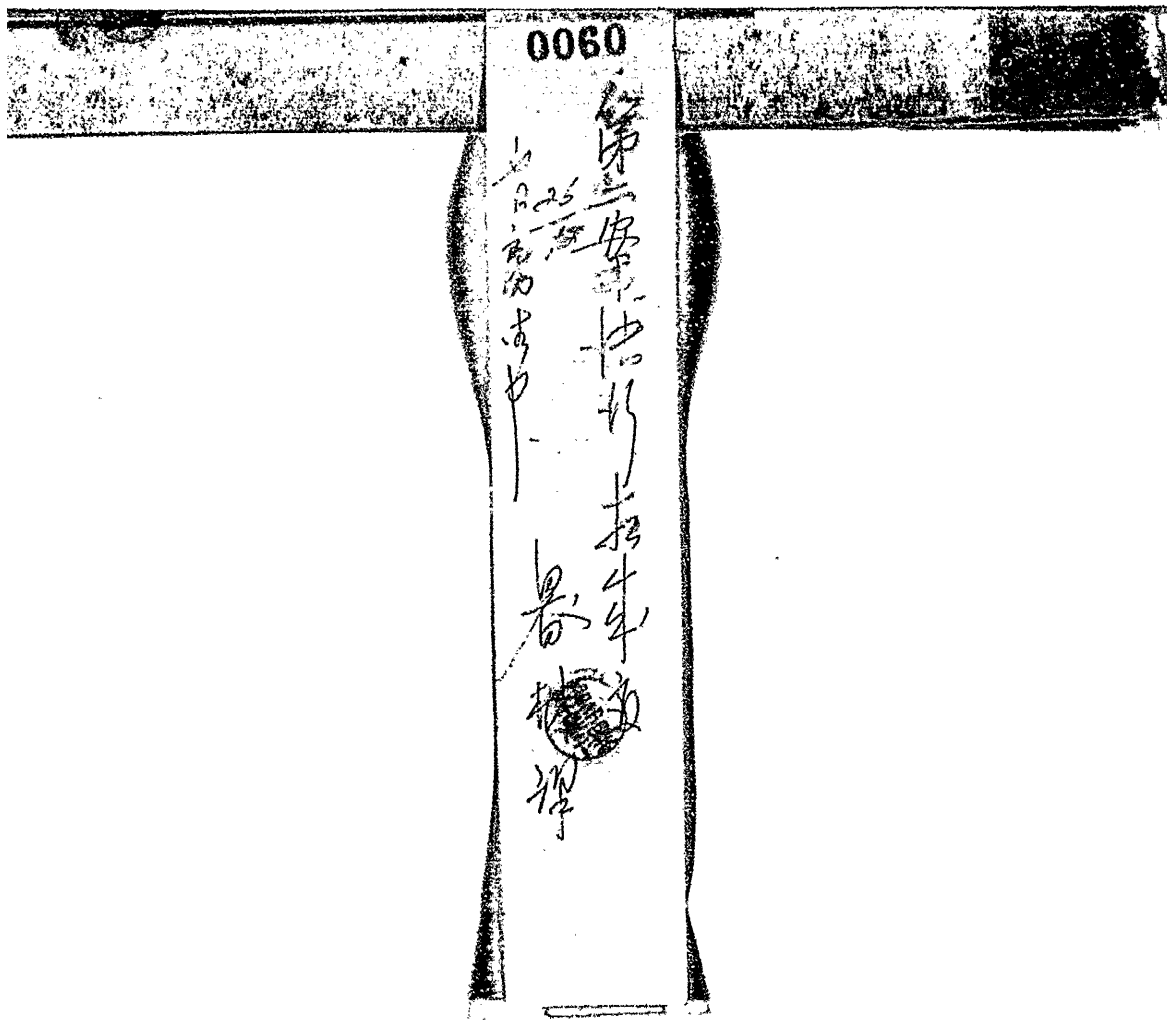
十二月二日附船被第五九九號 上由一通
詮議セラレシニ付承知相成度

追テ海軍。於テ急遽艦船搭載ノ必要ヲ
生シタル場合ニ貸與期間中ト雖返却スレ
キモノニ付爲念

陸密第六六一號

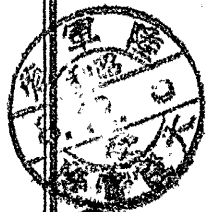
昭和八年三月廿七日

陸軍



秘

志 第一二二一 第六四



航 秘 第 五 九 九 號

海軍ヨリ射出機借用相成度件上申

昭和八年十二月二日

陸軍航空本部長 杉山

陸軍大臣 荒 木 貞 夫 殿

昭和八年十月二十日陸密第五二四號ニ係ル飛行機用射出機製作ニ關
聯シ射出機用飛行機ノ審査上必要有之左記器材ヲ昭和九年四月ヨリ
同年八月マテ海軍ヨリ借用方取計ハレ度上申ス

追テ右器材借用方ニ關シテハ當部ト海軍航空本部トハ協議濟シニ
シテ尙其設置場所ハ濱松飛行場トシ運搬其他ニ要スル費用ハ陸軍
ノ負擔トシ且ツ實施上ノ細部ニ關シテハ當部ト海軍當事者ト協議
致度ニ付申添フ

左 記

吳式一號射出機三型改二、一組



陸軍航空本部
長 印

0902

保存 決裁指定 決行指定

大臣 [Stamp]	件名 射名飛行教育訓練傳度方取計と相成度件			受領 番號 [Stamp]
政務次官 [Stamp]	陸軍省本部			政務次官 回付
參與官 書記官	[Stamp] [Stamp]			決裁前 後課名
事務副官 官房物用係	[Stamp]			決行 回覽課名
主務課員	[Stamp]			
局長	[Stamp]			
主務課長	[Stamp]			
高級副官 牛島	[Stamp]			
事務局長	[Stamp]			
局長	[Stamp]			
局長	[Stamp]			
局長	[Stamp]			
局長	[Stamp]			
局長	[Stamp]			
局長	[Stamp]			
局長	[Stamp]			

政務次官 回付 決裁前
後課名

決行(決裁)後
回覽課名

33 頁

陸密鑑下

照會

次官尋海軍次官へ

昭和八年九月二十五日附照會ニ依ル飛行
 機用射台機ニ關聯シ陸軍航空本部職員
 三名十二月中旬尋明年一月ノ間ニ於テ九〇式
 二機偵察機二型機ノ操縦法同機ニ依ル射
 出飛行教育訓練ノ傳授方面計ヒ相成度
 照會ス

追テ實施ノ細部ニ關シテ陸軍航空本部
 ヲシテ直接當事者ト協議セシムルコト、致
 度申添フ

陸密鑑六二九號
 昭和八年十二月七日



右奥存本年同谷アリシル後十二條市法行

陸軍部

通牒

副官ヲ陸軍部官署部長

十二月二日附船枚第六〇號上申、通諭

議セシレシニ承知相成度

陸軍第六〇號

昭和八年七月廿三日



陸軍

航秘第六〇〇號

射出飛行教育訓練傳受方取計と相成度件上申

昭和八年十二月二日

陸軍航空本部長 杉山

陸軍大臣 荒木貞夫 殿

昭和八年十月二十日陸密第五二四號ニ係ル飛行機用射出機製作ニ關
聯シ當部職員三名十二月中旬ヨリ明年一月ノ間ニ於テ海軍ヨリ其現
用九〇式二號偵察機二型機ノ操縦竝同機ニ依ル射出飛行教育訓練ノ
傳受方取計と相成度

進テ本件ニ關シテハ當部ト海軍航空本部トハ協議済ミニシテ尙經
費其他實施上ノ細部ニ關シテハ當部ト海軍當事者ト協議致度ニ付
申添フ



陸軍

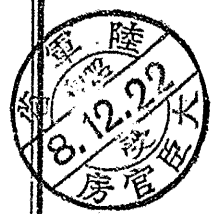


義

陸軍機密第二四七二號ノ二

官房機密第二四七二號ノ二

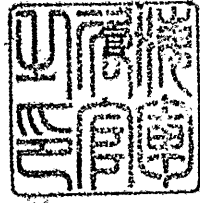
昭和八年十二月二十二日



海軍 (花房精)

陸軍次官殿

海軍次



陸軍航空本部職員射出飛行教育訓練ノ件回答

陸密第六二九號ヲ以テ照會ノ首題ノ件左記ニ依リ許可相成候條詳細ニ關シテハ直接海軍航空本部、横須賀鎮守府及第二艦隊司令部ト協議アリ度

記

一、時 期 昭和九年一月

一、場 所 横須賀海軍航空隊及第二艦隊ノ一艦

一、本訓令中陸軍操縦員ハ横須賀海軍航空隊司令又ハ當該艦長ノ指
示ヲ受ク

(終)

海軍 (花巻)

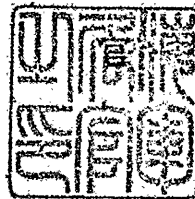
第七
第三三三
番
共
七

官房機密第二四七七號ノ二

昭和八年十二月二十三日

陸軍次官殿

海軍次



海軍
(花給納)

飛行機射出機貸與ノ件回答

本年十二月七日附陸密第六三〇號照會首題ノ件差支無之候

追テ急遽艦船搭載ノ必要ヲ生ジタル場合ニハ貸與期間中ト雖返却
ノコトニ御了知相成度爲念申添候

(終)

6060



決行指定



決裁指定



保存期

政務次官 回付 決裁前後 連帶 領密第三二二八 起元廳(課)名 陸軍修習本部 決行(決裁)後 同覽 課名

大臣 陸軍		局長 主務	次官	政務 次官	件名 KS機密審査實施ニ関スル件	番 領密第三二二八	受 領
局長 主務							
了結 昭和 年 月 日	領受 昭和 年 三月三日	提出 昭和 年 三月三日	領受 昭和 九年 二月二十三日	番 密第八五			
(決行) 決行後 同覽		連 帶					
局長		局長					
長課		長課					

陸密

通牒

陸

軍

副官ヨリ第三師團參謀長へ
 飛行機射出機(爾今ハS機ト略稱ス)ハ
 審査直轄訓練ノ為嶺南飛行學校飛行場
 ヲ使用スルコトニ定メラセタルニ付之カ施設
 秘密保持ニ関シテ配慮相成度依命通
 牒ス

追テ本機ニ関スル一切ノ事項ハ軍事機
 密トシ記事差止ニ関シテハ別紙ノ如ク内
 務省ト連絡済ナリ又實地ノ細部ニ関
 シテハ直接陸軍航空部ト協議セシ

ス

度由添フ

陸軍第九九號

昭和九年參月參日

通牒

副官君陸軍航空部長へ

二月二十日附航空部第八九號上申之基キ
別紙ノ如ク第三師團參謀長へ通牒セルニ
付承知相成度

追テ昭和八年十月二十日附陸軍密第五二回
號之依ル器材ノ作戦資材トシテ貴部ニ於
テ保管セラレ度由添フ

陸軍第九九號

昭和九年參月參日

陸軍

第一〇四

差止(九)第九號

昭和九年二月十九日

秘

内務省警保局長

警視總監殿
各廳府縣長官殿

新聞記事取締ニ關スル件

濱松飛行場ニ於テ行フ飛行試験ニ關聯スル記事ハ當分ノ間一切之
ヲ新聞紙ニ掲載セサル様管下各社ニ示達相成度

陸軍

才三郎

説明ターゲット

次の原稿

不鮮明

| 0913 ~ 0914 |

3年 10月 4日

主務者又は

撮影立会者

加部東保夫



軍機審査實施ニ關スル件通牒

昭和九年三月 日

陸軍省 副官

第三師團參謀長宛

飛行機射出機一爾今軍機ト略稱ス一ノ審査並訓練ノ爲該松飛行
學校飛行場ヲ使用スルコトニ定メラレタルニ付之カ施設並秘密保
持ニ關シテ配慮相成度依命通牒ス

茲ヲ本機ニ關スル一切ノ事項ハ軍事機密トシ記事差止ニ關シテ
ハ別紙ノ如ク内務省ト連絡済ナリ又實施ノ細部ニ關シテハ直接
ニ陸軍航空本部ト協議セラレ度申添フ

綴切リ扣

陸軍省 副官

寫一〇四

差止(九)第九號

昭和九年二月十九日

秘

内務省警保局長

警視總監殿
各廳府縣長官殿

新聞記事取締ニ關スル件

濱松飛行場ニ於テ行フ飛行試験ニ關聯スル記事ハ當分ノ間一切之ヲ新聞紙ニ掲載セサル様管下各社ニ示達相成度

陸軍



航秘第 八九 號

陸軍航空本部
器材課
三月廿三日

飛行機射出機審査並訓練ニ件フ秘密保持、施設及保管方ノ件上申

昭和九年二月二十二日

陸軍航空本部長 杉山

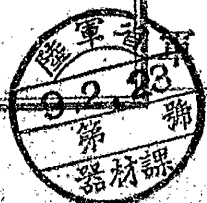
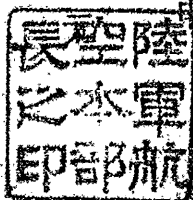
陸軍大臣 林 銑 十郎 殿

昭和八年十月二十日陸密第五二四號ニ係ル射出機審査並訓練ノタメ別紙要領ニ依リ本月下旬ヨリ濱松飛行學校飛行場ヲ使用致度ニ就テハ本機ニ對スル秘密保持、施設並保管方ニ付配應相成度上申ス
追テ第三師團トハ設置ノ要領及保管方ニ關シ打テ合セ濟キニ付申添フ

昭和九年二月廿三日



陸



三月廿三日
陸軍航空本部
器材課
杉山

陸密

通牒

副官より陸軍航空本部長へ

昭和十年三月十二日航秘第二三一號
報告ニ基ク飛行機射出機ハ特殊資
材トシテ貴部ニ於テ保管セラレ度依命
通牒ス

追テ同機ハ陸軍兵器機(秘)密取扱
規程機密兵器トシテ取扱ヒ關係圖
面ハ貴部ニ於テ保管セラレ度

陸密第一七九號 昭和十年三月廿三日

8T60

航秘第 二二二二號

飛行機射出機審査ノ件報告

昭和拾年參月拾貳日

陸軍航空本部長 堀 丈

陸軍大臣 林 銑十郎 殿

首題ノ器材審査ノ結果別紙ノ通報報告ス

2月27日	器材課
器材課	器材課

陸軍大臣
10月3日

陸軍航空本部長
印

陸軍省
10.3.12
器材課

陸軍